

ふくしま便り

No. 5

2016年12月28日発行

12月号

日本生協連
組合員活動部

11月22日早朝の地震で、東京電力福島第2原発3号機の使用済み燃料プール冷却装置が一時停止しました。幸い大事には至りませんでした。まさか5年前の再現かと思った人も多かったのではと思います。大きな被害が出ず、本当に良かった！



仮設住宅ふれあいサロンから ～双葉町北幹線仮設住宅集会所～

10/25 双葉町・福島市北幹線仮設集会所で住民とボランティアスタッフ 10 名が参加して芋煮会を行いました。福島の芋煮はみそ仕立ての“豚汁”です。新米でそれぞれがおにぎりを作り、頂きながら近況を報告し合いました。今回サロンに初参加したご婦人は、なんと95歳！ 皆さんから拍手が起きました。



コープながの、ユーコープしずおかから頂いたお菓子をお渡ししました。

双葉町もみそ味の豚汁！？



東京都生協連「メディアが伝えない ふくしまの今」 ～11/21 東京都生協連～

東京都生協連が主催する講演とパネルディスカッションに JA 福島中央会、JF 福島県漁連と共に、コープふくしまの日野公代理事が参加しました。コープふくしまの理事として、一人の消費者としてくらしの安心を取り戻すために取り組んできたこと、福島の農業、漁業への思いをお話しました。

JA 福島中央会から常務理事の川上氏、JF 福島県漁連から災害復興プロジェクトチームの八田氏が参加して農業と漁業の現状や課題について報告を行いました。

コープみらい全体区分理事の星野綾子さんから、「コープみらいの復興支援の取り組み」と「福島の梨でスイーツづくり」「桃ジュースの販売」「手芸品の販売」などご自身の活動も報告していただきました。



放射能を学び、知り震災直後、とにかく 福島から逃げ出したいと思っていたお子さんのいる方が、今では2人目のお子さんも福島で生み育てている。

コープふくしま
日野理事





コープみえが手作りカレンダーを贈呈 ～11/22 コープふくしま本部～

コープみえからコープふくしまへ、今年も「つながりカレンダー2017年」が贈呈されました。7名の方が訪れ、応募があった213作品の中から選ばれた卓上カレンダー500セットを贈りました。その後、浪江町北幹線仮設住宅を訪問し、カレンダーをお渡ししてお茶を飲みながら交流を行いました。



福島の実状を知る 視察と学習会

【被災地視察に訪れた生協】

- 10月度 10/8 浦和レッズハートフルサッカー。10/12-13 エフコープで富岡町夜ノ森桜植樹式
10/15 コープにいがたが訪問。10/20 生協共立社（天童地区）が訪問
- 11月度 10/27-28 コープあいちが訪問。11/12-13 東都生協が訪問
11/17-18 ユーコープかながわ本部が訪問



知ってますか？ ～ 米の放射線量 全袋検査 ～

（「ふくしまの恵み安全対策協議会」の2016年公表資料から）

2016年福島で生産された玄米、約1千万袋（30kg）の放射線全量検査が終了しました。検査結果は下記の通りで、すべて基準値以下で安全が確保されています。日本生協連の「5年目の福島を見て、知るツアー」でも福島市の検査の様子を2回にわたり見学しました。

<スクリーニング検査> 自家消費米を含めすべてのお米をベルトコンベアー式の検査器でスクリーニングします。国の基準値100ベクレルを超えたお米を流通させないための対策です。水田での吸収抑制対策などにより、基準を超えるお米はなくなっています。

	25ベクレル/kg (測定下限値)未満	25～50 ベクレル/kg	51～75 ベクレル/kg	76～100 ベクレル/kg	計
検査点数	9,947,765	400	7	0	9,948,172 /30kg 袋
割合	100 %	0.004 %	0.0001 %	0 %	100 %



サロンにおじゃましました！

10/19 双葉町日和田高倉仮設住宅におじゃましました。今は引っ越しをされた方たちも来てくれました。男性の参加者で、東電福島第一原発で事故前から作業をしていた方がいて、廃炉作業の生々しい様子を語ってくれたことが強く印象に残りました。現在は、累積被ばくが基準の50ミリシーベルトを超え、1年間は原発への立ち入りが制限されているそうです。こうした地元の方たちの力で廃炉作業が進められています。健康被害がないことを祈るばかりです。-住吉-

発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

住吉 小池